

事 業 報 告 書

1 団体名	イトネコ															
2 事業名	介護保険対象者世帯、生活保護受給者世帯に関わる猫の多頭飼育崩壊予防事業															
3 実施期間	R5.6.1～R6.2.2															
4 事業実績(日程・人数・会場等)	<p>※配布したチラシの枚数や参加人数等詳細にご記入ください。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">6月 チラシ考案・広報 (SNS)</td> <td style="width: 50%;">11月 チラシ配布 560枚 広報 (SNS)</td> </tr> <tr> <td>7月 チラシ配布 285枚</td> <td>12月 チラシをみて区長より相談あり</td> </tr> <tr> <td>8月 チラシ配布 10枚</td> <td>1月 地域包括支援センターからも相談あり</td> </tr> <tr> <td>9月 チラシ配布 35枚 地域包括支援センター事務局会議参加</td> <td>志摩地区 S 地域 三人世帯(介護対象) 避妊 13匹 去勢 7匹 地域包括支援センターより相談あり</td> </tr> <tr> <td></td> <td>残 3匹 (仔猫) は手術適齢期 3月手術予定</td> </tr> <tr> <td>10月 地域ケア会議に参加 前原地区 Y 地域 一人世帯 (介護対象) 避妊 1匹 (飼い主負担)</td> <td>【地域住民 5人 行政区長 包括支援センター】 飼い主は餌やり、トイレ管理、猫の居場所づくりで猫の放浪を極力減らし、地域では長い目で見守りしていく事となる。</td> </tr> <tr> <td>【行政区長 民生委員 包括支援センター ケアマネジャー 糸島保健所】 ご家族が週 3ペースで通い猫の管理と 住居整理に入り、地域に協力できる よう世帯の状況を知って頂く。</td> <td>2月 術後猫リリース 対象世帯、地域住民、区長、地域包括支援センターと話し合い</td> </tr> </table>		6月 チラシ考案・広報 (SNS)	11月 チラシ配布 560枚 広報 (SNS)	7月 チラシ配布 285枚	12月 チラシをみて区長より相談あり	8月 チラシ配布 10枚	1月 地域包括支援センターからも相談あり	9月 チラシ配布 35枚 地域包括支援センター事務局会議参加	志摩地区 S 地域 三人世帯(介護対象) 避妊 13匹 去勢 7匹 地域包括支援センターより相談あり		残 3匹 (仔猫) は手術適齢期 3月手術予定	10月 地域ケア会議に参加 前原地区 Y 地域 一人世帯 (介護対象) 避妊 1匹 (飼い主負担)	【地域住民 5人 行政区長 包括支援センター】 飼い主は餌やり、トイレ管理、猫の居場所づくりで猫の放浪を極力減らし、地域では長い目で見守りしていく事となる。	【行政区長 民生委員 包括支援センター ケアマネジャー 糸島保健所】 ご家族が週 3ペースで通い猫の管理と 住居整理に入り、地域に協力できる よう世帯の状況を知って頂く。	2月 術後猫リリース 対象世帯、地域住民、区長、地域包括支援センターと話し合い
6月 チラシ考案・広報 (SNS)	11月 チラシ配布 560枚 広報 (SNS)															
7月 チラシ配布 285枚	12月 チラシをみて区長より相談あり															
8月 チラシ配布 10枚	1月 地域包括支援センターからも相談あり															
9月 チラシ配布 35枚 地域包括支援センター事務局会議参加	志摩地区 S 地域 三人世帯(介護対象) 避妊 13匹 去勢 7匹 地域包括支援センターより相談あり															
	残 3匹 (仔猫) は手術適齢期 3月手術予定															
10月 地域ケア会議に参加 前原地区 Y 地域 一人世帯 (介護対象) 避妊 1匹 (飼い主負担)	【地域住民 5人 行政区長 包括支援センター】 飼い主は餌やり、トイレ管理、猫の居場所づくりで猫の放浪を極力減らし、地域では長い目で見守りしていく事となる。															
【行政区長 民生委員 包括支援センター ケアマネジャー 糸島保健所】 ご家族が週 3ペースで通い猫の管理と 住居整理に入り、地域に協力できる よう世帯の状況を知って頂く。	2月 術後猫リリース 対象世帯、地域住民、区長、地域包括支援センターと話し合い															
5 事業の成果 (事業計画時の目的、目標に対する成果)	<p>※この事業を実施し、得られたものは何ですか。</p> <p>今回、すでに起こってしまった状態からの事案に対し、個別支援会議や地域ケア会議に参加し情報を得る事ができ、地域住民と社会福祉関係者、行政、動物関係者が専門性を活かし、これ以上の予測できる悪化を防止することができました。</p> <p>チラシ配布や会議に参加する事で早期発見の重要性を知って頂く機会になり、社会福祉関係者や民生委員等に対する感度が高まり相談へと繋がりました。</p> <p>この事業を期に社会福祉関係者との連帯が持続できるようになりました。</p>															
6 事業実施における課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・不妊去勢の常識化 ・早い段階での「気づき」を幅広い視野で周知していく ・不妊去勢に対する助成や補助がない為に手術に至らないケースがある 															
7 今後の展開	<p>問題の兆しを得るために、社会福祉関係者との関わりの強化として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・居宅部会・包括支援センター事務局会での参加で連帯持続する。 <p>不妊去勢を常識化するため</p> <ul style="list-style-type: none"> ・糸島市広報での啓発 ・各行政区への回覧 にて幅広い周知徹底をおこなう。 <p>また今回多頭飼育になった始まりは野良猫を安易に飼いはじめた事がきっかけである事から、捨て猫や飼い主のいない猫を増やさない対策を強化する必要があります。具体的には現在関わっている地区から地域との関わりを増やし、捨て猫看板設置や回覧等で啓発していきます。1件ずつ住民の聞き込みと区長、行政との連絡と情報共有し地域主体としてサポートしていきます。</p> <p>糸島市へどうぶつ基金無料手術（行政枠）の登録を打診していきます。</p>															

※写真等の活動の様子がわかる資料や作成したチラシ等も添付してください。